

# イデックスオイルレポート ~For a week~

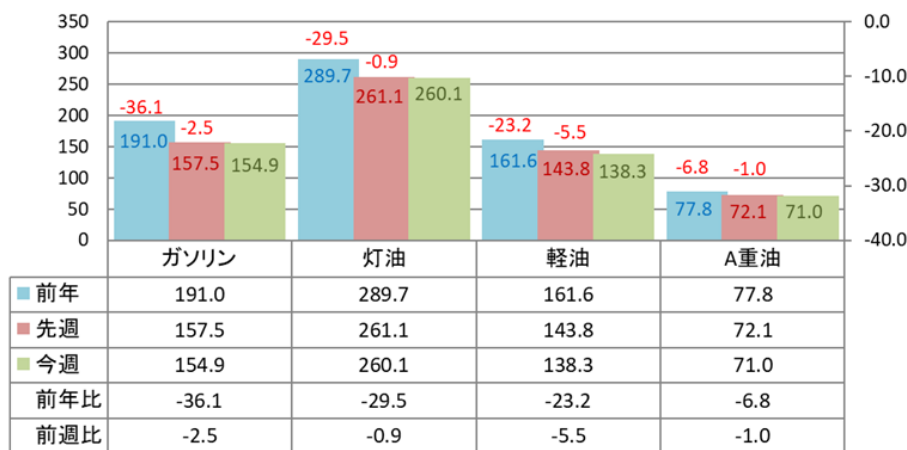
2021/11/5作成 (株)新出光

## 【概況】<OPEC総会前の利益確定売りに押され下落>

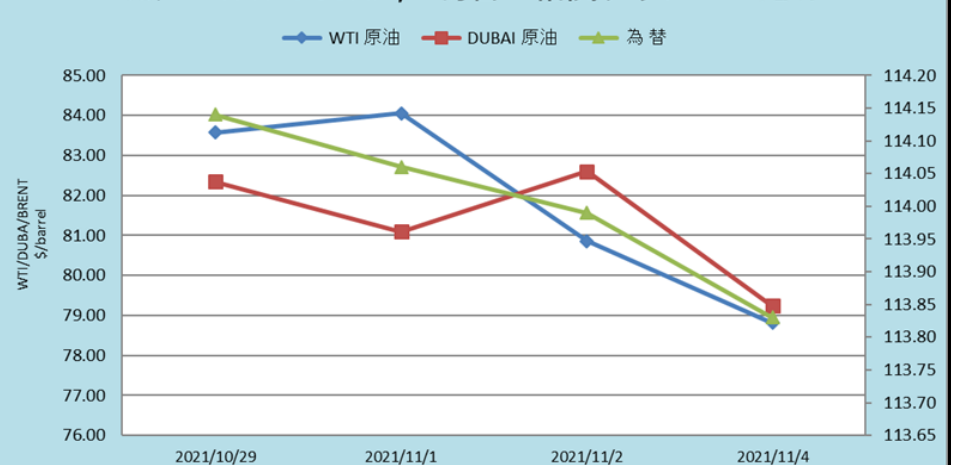
- 29日、バイデン米大統領が30日にローマで開かれる20カ国・地域首脳会議(G20)サミットに合わせ、イラン核合意をめぐり、欧州の首脳と協議することが判明し、米国の対イラン制裁の解除につながればイラン産の原油が国際市場に再び流入するとの思惑も重しとなりました。原油在庫の増加も引き続き売り材料となりました。
- 1日、今週4日に予定されているOPECプラスの閣僚級会合では、先に合意した毎月日量40万バレルずつの増産計画が維持されると予想されており、OPECプラスが早急に積極的な増産に動くことはないとの観測が相場の下支えとなっています。
- 2日、米国内の原油在庫が2週連続で拡大するとの観測が圧迫材料となりましたが、大幅な供給拡大に慎重な姿勢を堅持するOPECプラスに対し、米国は一段の増産を要請していることから、会合の結果を見極めたいとの思惑も広がりました。
- 3日、米エネルギー情報局(EIA)によると、米原油在庫は前週比330万バレル増と、増加幅は市場予想(220万バレル増)を上回りました。一方、ガソリン在庫は150万バレル減(予想は130万バレル減)、ディスティレート(留出油)在庫は220万バレル増(140万バレル減)でした。予想を上回る原油在庫の増加を受けて供給逼迫懸念が後退し、原油相場は下落しました。
- 4日、OPECプラスはこの日、閣僚級会合を開催し、12月以降の生産方針について協議しました。欧州を中心に新型コロナウイルス感染が再び拡大傾向にあるほか、大半の産油国に増産余力がないことから、日米などの大幅増産要請には応じないとの観測に支えられ、相場は高値を付けました。しかし、サウジアラビア国営テレビが同国の産油量について12月に新型コロナ流行以来初めて日量1000万バレルを超える見通しと報じたことがきっかけに急反転し下落しました。

11月5日 17:00現在 WTI原油 79.34ドル 為替 1ドル 113.79円

国内石油製品在庫 10月30日時点 単位万kl



ドル/bbl WTI・DUBAI / 為替 相関グラフ 単位 円



## 次回元売変動予測

11/11~ 元売変動予測

ガソリン	→	-1.5~-1.0
灯油	→	-1.5~-1.0
軽油	→	-1.5~-1.0
A重油	→	-1.5~-1.0
LSA	→	-1.5~-1.0

## 【製品卸価格】<原油相場下落し市況にも影響>

《今週》今週の元売り仕切り改定は三社ともに「-1.5円」の値下げでした。ようやくの改定の下げではありませんが、11月4日に行われるOPECプラスの会合の結果を見定めたいと考えるディーラーは多く、改定後の取引は比較的閑散とした状況が窺えました。ただ、原油価格が下がっていることもあり、売り意欲を示すディーラーが増えてきています。

《11月6日以降》次回の元売り改定は、現状の原油コストで「-1.5~-1.0円」の値下げ予測です。OPECプラスの会合の結果、現行の増産計画を維持することで決定しました。米原油在庫の増加に加え、サウジアラビアの産油量が日量1,000万バレルまで回復することも材料視され原油価格が下がったようです。この下落を受け、週末の市況は各社値下げし、販売にさらに踏み込んだようです。来週の価格改定も円単位での値下げが見込まれる中で、月間玉を織り込んだ価格対応が各地で見られます。まだ11月も始まったばかりで先行きは不透明ですが、10月での枠消化に苦戦を強いられたこともあり、心理的に早めの消化に打って出た面もあるようです。

※現段階の原油コストによる予想です。

## 【次世代エネルギー】<ANAとJAL共同でSAF(Sustainable Aviation Fuel)の普及へ>

全日本空輸と日本航空はSAF(持続可能な航空燃料)に理解を広げるために、共同レポート「2050年航空輸送におけるCO2排出実質ゼロへ向けて」を策定したと発表しました。世界のSAF生産量は需要の0.03%にとどまり、価格も従来の化石燃料を大幅に上回る状態が続いています。植物や廃食油などを原料としたSAF生産量は世界でもまだ少なく、全日本空輸はフィンランドのNESTE社からのSAFの供給契約を結んではいませんが、量産と普及が急務となっています。2030年までに最低でも使用燃料の10%をSAFに移行する必要があるようです。SAFに限らず、大手航空・宇宙メーカーのエアバスは水素で飛ぶ旅客機の開発構想を昨年発表し、環境を汚染するような廃棄物を出さない「ゼロ・エミッション」航空機を目標とし、2035年までの実用化を目指しています。

[出典]

- ① <https://www.aviationwire.jp/archives/236264>
- ② <https://news.mynavi.jp/article/20201002-1363343/>